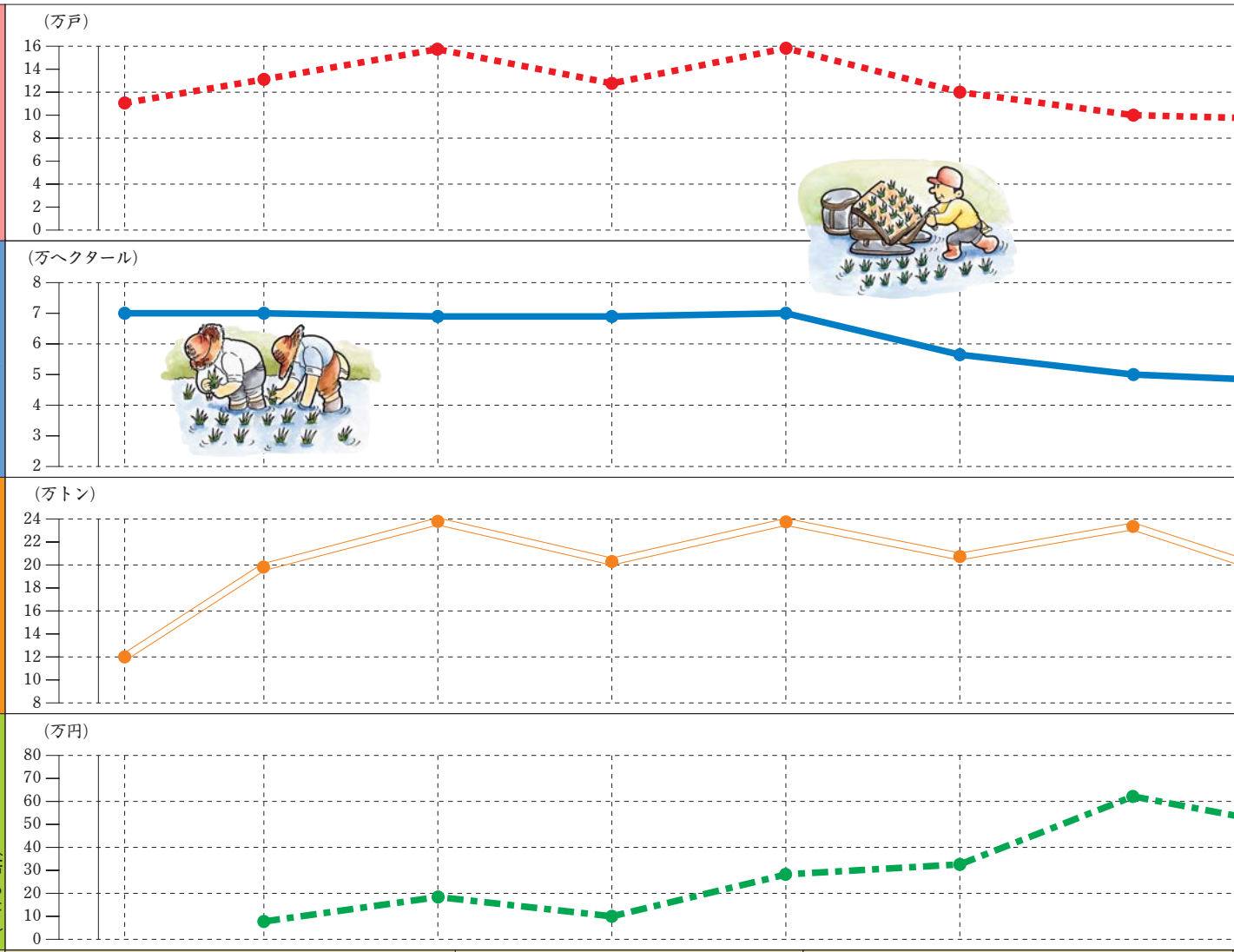
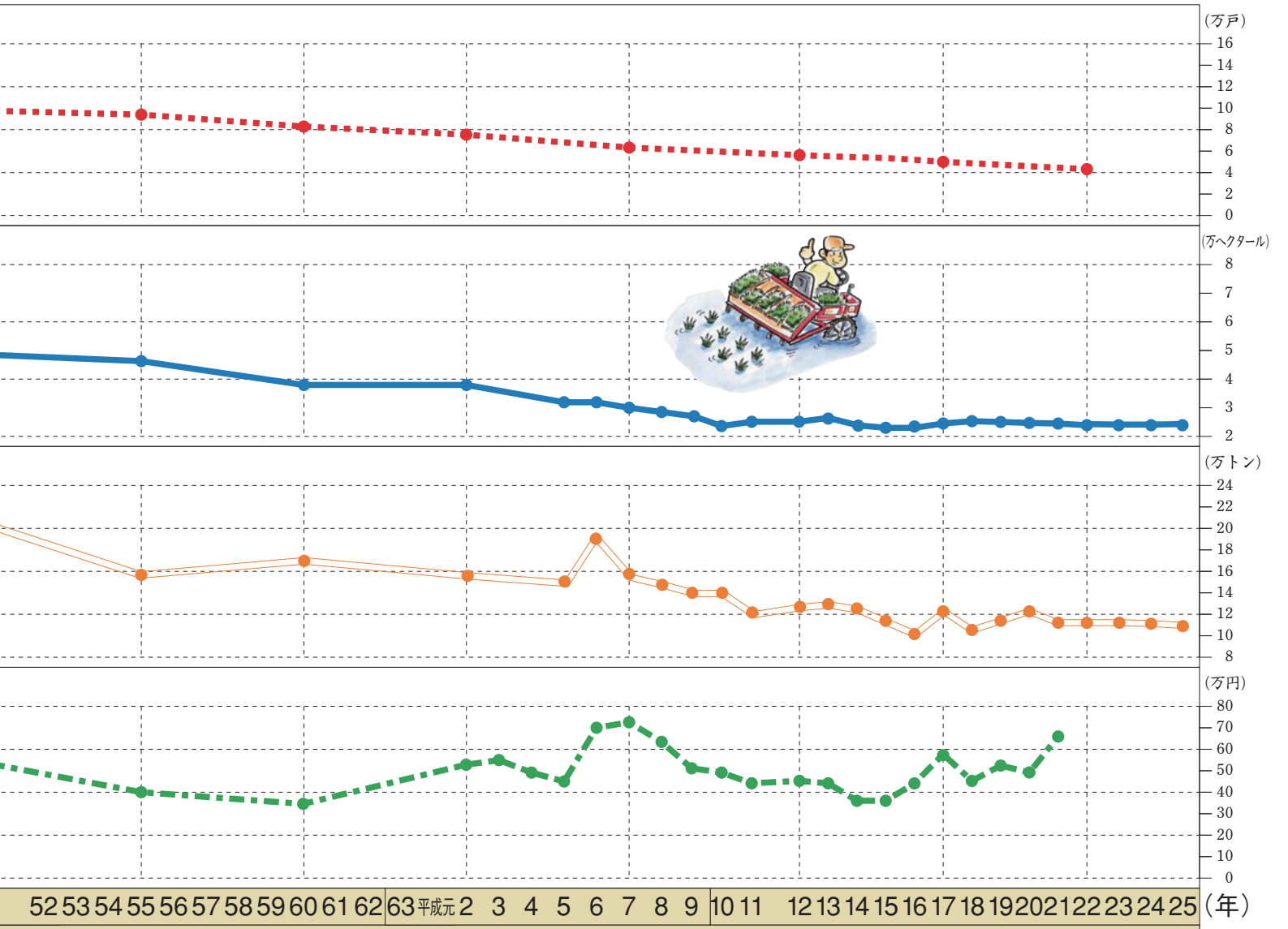
〔資料3〕山口県の農業のうつりかわり



いつごろ	昭和 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40	41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51
	（60年前ごろ）	（50年前ごろ）	（40年前ごろ）
主なできごと	山口市にある県農事試験場が県農業試験場になった 農業協同組合（農協）ができた 学校給食が法律で決められた	農業協同組合による有線ほうそうがはじまった インスタントラーメンが売られるようになった テレビが家庭につきはじめた 田のほじょうせいび事業がはじまった いちごのビニルハウス栽培がはじまった	雨が少なく農作業にひ害がでた 田植え機が使われはじめた 米の生産調整がはじまった 山口県農業まつりがはじまる 農業にお年寄りの割合が多くなった 農家の農業以外の収入がふえはじめた みかんの生産調整がはじまった 学校給食に米飯がはじまった



国際協同組合年が決められた

大雨のため、おおきなひ害が出た

農林業関係(農業・畜産・林業)の試験場と農業大学校が統合して、山口県農林総合技術センターとなった

山口県に農林水産部ができ、農林業・水産業の仕事がひとつになった

食育基本法ができた

台風21号等で農作物に大きなひ害が出た

日照不足のため、米が不作であった

「山口きらら博」が開かれた

台風18号で大きなひ害がでた

「食料・農業・農村基本法」ができた

米の部分輸入が関税化にかわった

新しい米の品種「晴るる」ができた

新食糧法がつかわれはじめた

貿易の自由化により米の一部輸入が行われた(六年間)

天候にめぐまれ、米が豊作であった

冷夏長雨で農作物にひ害がでたため米の一部輸入が行われた

山陽自動車道が開通した

農協がJAとよばれるようになった

山口市に県農林業情報センターができた

農業協同組合のがっぺいが進められた

山口宇部空港を利用したフライト農業がはじまった

副読本「山口県の農業」ができる

中国縦貫自動車道が開通した

冷夏長雨のために農作物にひ害がでた

防府市にある県営農技術研修所が県立農業大学校となった

山口県農業の基本プランが発表された

資料：山口県調べ